

シルバー やまがた

第126号 平成29年4月1日発行

(公社)山形市シルバー人材センター

正会員数 1,060名 賛助会員 44個人・70団体(3月末現在)



春の野草園 (同園提供)

—— 内容紹介 ——

P2 平成29年度を迎えて

P3 会員の状況・就業状況について

P4 女性部会だより

P5 わが街自慢

P6~7 会員のひろば

P8 就業会員を訪ねて

P9 人あり・技あり・心あり

新入会員紹介

P10 事務局だより

平成二十九年度を迎えて

理事長 長瀬 洋男



や世話役会や地区研修会においてイチイ運動の展開を呼び掛けてまいりましたが、今年度も引き続き、会員の皆様のご協力をお願いし会員の増加に取り組んでまいります。

やまがた生涯現役促進 地域連携事業協議会の発足

平成二十八年度から厚生労働省のコンペ事業として実施されてきた生涯現役促進地域連携事業が今年度から三カ年の期間設定で実施されることとなり、山形市や商工会議所、社会福祉協議会等とともに当シルバー人材センターもその構成員となり協議会として取り組む事業構想や高齢者の就業機会確保計画の策定に取り組んでまいりました。

去る二月の厚生労働省でのプレゼンテーションを通して、協議会としての事業が採択されました。

この事業では、高齢者の新たな就業機会の拡大を目指し、ワンストップの就業相談窓口の設置や観光ボランティアの養成、企業説明会、高齢者向けの就業セミナー等を開催してまいります。

また、同時に高齢者による産直市

の開設と遊休農地を活用した農園の運営も予定しておりますので、会員の皆様には、是非、ご協力・ご支援をいただきたいと存じます。

現役世代サポート分野へ注力

平成二十八年度から、国からの補助金交付の要件として、派遣事業の重要性はお知らせしてまいりましたが、今年度は特に、介護補助や保育補助等の現役世代のサポート分野の派遣事業のウエイトが高まっております。当センターにおいても、今年三月をもって事業廃止となった子育て支援事業「めんこいひろば」に代わる会員の就業先として、保育補助事業の新規開拓に努力してまいります。

新規就業開拓に成果

会員皆様のお陰をもちまして、請

負事業における受注実績、延就業人員数も前年度に引き続き増加傾向にあります。

また、平成二十六年度は、地方経済の好転が期待できない状況から大型量販店や大型電気店からの派遣受注がなくなるなど、厳しい情勢が続いておりましたが、昨年度は新規就業開拓の成果があり、派遣事業実績も好転いたしました。

請負事業の実績と同様に、この三年間は、新規受注開拓が奏功し、派遣事業も順調に実績が上がっております。

今後も引き続き、新規就業開拓に取り組んでまいります。

イチイチ運動の

積極的な展開を

昨年度は、六年ぶりに会員数が一千人台を突破し、大幅な増加となりました。役職員による街頭啓発活動

『三年間事故ゼロ』

運動の継続

平成二十八年度に安全就業推進委員会を中心として『三年間事故ゼロ』の重点目標を掲げましたが、昨年度は何とか無事故を達成することができました。今年度も引き続き、会員一人一人が就業前の安全確認を行い、役職員と共に一丸となり、『事故ゼロ』の取り組みを継続・強化してまいります。



会員の状況・就業状況について

平成28年9月から平成29年2月末まで（下半期）

①会員の状況

月別	入会者数	退会者数	当月末会員数	備考
28.8.31			987	
9 月	12 (男4、女8)	0	999	
10 月	11 (男10、女1)	1 (男1、女0)	1,009	
11 月	16 (男11、女5)	0	1,025	
12 月	12 (男8、女4)	0	1,037	
1 月	7 (男4、女3)	0	1,044	
2 月	7 (男6、女1)	1 (男1、女0)	1,050	
合 計				男:802 女:248

②就業状況

区分	職群	就業延人数	備考
一般受注	技 術 群	98	経理事務、パソコン作業 など
	技 能 群	19,254	襖張り、障子張り、剪定 など
	事 務 整 理 群	2,599	賞状筆耕、統計事務 など
	管 理 群	23,776	駐車場管理、施設管理 など
	折 衝 外 交 群	621	量販店での作業 など
	一 般 作 業 群	18,617	除草、草刈り、清掃 など
	サ ー ビ ス 群	1,002	病院での洗濯、らくらく応援隊 など
	計	65,967	
独自事業	自 転 車 再 生	90	
	家具リサイクル	1	
	即 売 会	32	
	計	123	
子育て支援	子 育 て 支 援	518	
合 計		66,608	
派遣事業		5,256	

事業区分	実就業人員	備考
請負事業	824	
派遣事業	112	
合 計	936	就業率:89.1%

女性部会だより

さらに元気に輝く女性でありますように…
年一回講習会を開催

二十八年度の講習会は七月二十六日・やさしい塩野美智子流の「折り紙教室」、九月二十三日「やまがた施設めぐり」の二つでした。



「折り紙教室」では折り紙という素晴らしいアイテムを使って作る楽しさを味わっていただきました。折り紙六十枚でお花に見えるくす玉を作りました。一枚の折り紙が一枚の花弁に。これが五枚で一つの花パーツ。立体タイプの桜に見えます。そして桜の花パーツ十二個を作り、ボンドで貼りつけてリリアンを下げて素敵にくす玉完成です。紙を折る動作は指先の動きが良い刺激になり、

脳を活性化してくれます。また人との間にある垣根を取ってくれ、笑顔にしてくれる不思議なパワーもあり、お互いのコミュニケーションがバッチリです。いつでも、どこでも材料代も安く、素材によってさまざまに変化する素敵な折り紙の世界を次年度も是非体験していただきたいです。

「やまがた施設めぐり」では、山形市民号マイクロバスでの初めての野外活動です。当日はまず野草園へ。自然とふれあい、栗やどんぐり拾い、秋の七草・オミナエシ・ヤマハギ・フジバカマなどひと足早い秋の花を満喫しました。フジバカマにはアサギマダラがたくさん飛来していました。この小さな美しい蝶に、九州や東南アジアまで旅をするたくましい力が潜んでいるとは…ちよつとしたロマンを感じました。途中、遠足に來園した小学生の子供たちと出会い、童心に帰る懐かしい気分にもなりました。野草園ではシルバー会員が就業していますが、その会員さんが準備してくださったセンニチコウは、最高のおみやげになりました。最後

に紅の蔵の蔵座敷でおそばを食べながら楽しく会話も弾み、交流を深めていただきました。

二十八年度のボランティア活動について

おかげさまで!!「ありがとう」の感謝の気持ちでいっぱい

バザーの収益金四万五千円を寄付

児童養護施設山形学園さんへのこの活動も、今年で五回目になりました。山形学園の子供達へ、みなさまの真心をシルバーパワーとともに贈ってまいりました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

未使用タオルの寄付活動

未使用タオル一本運動は今年度で十回目になりました。今年度は五百七十一枚のタオルをお寄せいただきました。この数は過去最高の枚数です。誠にありがとうございます。二月二十七日、



会員さんの就業されている施設、ユトリケアセンターなりさわさん・特別養護老人ホーム大曾根さんの二ヶ所へお届けしてまいりました。引き続き、二十九年度もご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成二十八年度

バザー寄付者名簿

(敬称略)

地区班	氏名
第二地区	鈴木 靖子
第二地区	村田せつ子
第七地区	渡辺 彰
鈴川二地区	鈴木 綏子
鈴川三地区	阿部 一雄
東沢地区	黒木 和子
滝山二地区	古林キヨ子
金井地区	安達つや子
蔵王地区	今野 久子
南山形・本沢地区	塩野美智子

会員互助会からも寄付いただきました。タオル寄付の名簿については、号外紙にてご紹介させていただきます。

南山形・本沢地区

古内 藤一

私たちの地区は山形市内の霞城公園から見て南から南南西に位置しております。近年、南山形の小松原地区には新しく小学校も建てられ、さらに道路や広々とした公園も整備されて蔵王連峰が一望に見渡せるすばらしい住宅地「みはらしの丘」が造成されました。かつて果樹園と雑木林であった丘陵地が一変いたしました。これからの更なる発展が楽しみです。

一方、南山形の西に隣接する本沢地区は、「街」という程の商店街も賑わいもない水田と果樹園に囲まれた静かな農村地域であります。この地は、嘗て（一六〇〇年）、「関ヶ原の戦い」があった頃「奥羽の関ヶ原」と呼ばれる長谷堂合戦があった所でもあります。長谷堂合戦は、一説には直江兼続が率いる二万の上杉軍と長谷堂城主「志村伊豆守光安」が千人あまりの城兵をもって半月あまり戦い、山形を戦火から守り抜いた

といわれております。この合戦の舞台となった長谷堂城は山の形から「亀ヶ城」とも呼ばれ、南側には本沢川が流れ、集落と水田に囲まれた独立した小さな山であります。山の周りは堀やぬかるみに囲まれ、山にはいくつもの土塁や曲輪まがらが作られるなど、自然の地形を利用した強固な要塞であったようでありま



す。今はこの城山全体が山形市の城址公園として整備され、山頂広場からは山形市街や蔵王連峰、長谷堂合戦の戦場となった場所などが一望でき、さらに秋には本沢地区の人たちによって植栽された彼岸花などを見ることが出来る史跡公園となっております。

地域紹介

わが街自慢



鈴川一地区

大滝 守

鈴川一地区は、東北中央病院付近の山形バイパスを挟み、東西にある和合町と双月町のふたつの町からなっております。東側には盃山（二五六メートル）と、そのふもとに盃山ゴルフ練習場があります。また西側には、かつて明治時代から和紙の製造が行われていた双月町があります。

昨年六月、馬ヶ崎河川敷で熊の目撃情報があり、市が盃山にオリを設置したところ、体長約百二十センチ、体重約五〇キロの雄（四〜五歳）ツキノワグマ一頭が捕獲されました。今後その熊が人に危害を加える可能性があるとして、射殺されたとのこと。

また盃山ゴルフ練習場は、ネットのない打ちっぱなしの練習場で、二十八打席、二百五十ヤード、全面天然芝。夏場は早朝から多くのゴルフファーが快音を響かせ練習に励んでいます。

そして東北中央病院は昭和三十

十四年の開業で、診療科目は内科、外科はもちろん産婦人科、眼科、歯科等、十五の診療科目がある総合病院です。近隣住民の医療の中心的存在であり、安心感を与えています。車での通院には駐車場も広く、またバスでの通院も可能であります。

鈴川一地区は緑が多く、近くに沼の辺公園があり、自然環境に恵まれ、交通の便も良い。山形駅までは車で約十五分、そして高速道路への入口、山形北インターや山形蔵王インターへも約十五分の距離にあります。



妻と共に



東沢地区
佐藤 芳和

私は、何一つ趣味を持っていない。こんな私を見かねた妻は、もう十数年も前から、「何かひとつでもいいから趣味を見つけておかないと、定年退職してからとても寂しくなるよ。」と、事ある毎に言い続けてきた。

しかし、七十歳を目前にして、未だに無趣味である。だが、私は別にそれが自分にとって普通のことであり、寂しいなんて思ったことは一度もないのだ。

一方、妻はというと、小さい頃から歌うことが大好きで、カラオケボックスに通いだしてからは、すっかりはまってしまい、それ以来カラオケなしの人生は考えられないとまで言うほどである。

歌の大会にも色々挑戦して、最初の舞台は、千葉の成田空港に隣接したホテルであった。私も妻も初めて訪れた場所であったが、たくさんの飛行機が見事に整列されていた様子が、十年余り経った今でも、はつきりと脳裏に焼き付いている。

それから五年後には、東京の上野で行われた大会に出たが、当然私も同行した。そして、三年連続して上野の大会に出る事になった。後で妻から聞かされたことだが、それは、東京が大好きである私へのプレゼントだったのだと言う。というのも、その大会への出場権を獲得するのが少々大変で、私の為に練習を積み重ねて実現させてくれたのだそうだ。

その後も、郡山、秋田県の大仙市と妻の大会に同行したが、今ではとても良い思い出として残っている。共働きであるから、休みが重なった日には、時々好きなドライブ等をして楽しむことにしている。

私が健康に恵まれているのは、九十四歳になる母のお陰と感謝しながら、体の続く限り仕事に勤しみ、充実した余生を送りたいと思っているところであります。

飯塚・樫沢地区
安達 寛

仕事を始めて四年余りを振り返って



飯塚・樫沢地区
安達 寛

宿直の仕事に就いて、これまでの

経験振り返り、回想いたします。仕事に就いてすぐの頃は、勝手がわからず、どきまぎの気持ちでミスばかりで、職員の方に指摘され初めてミスに気づき、しまったと反省することが多々ありました。この先仕事が続けられるか不安の時がありました。しかし職員の方々に、温かく接していただきご指導、ご理解いただき、すぐに立ち直ることができました。私が勤めている職場は病院です。病院の仕事は多岐でまた専門性があり、当方には未だに理解できないことがたくさんあります。

私の仕事は夜の宿直です。仕事の内容は施設の巡回・施設内の戸締り、施錠の確認。電話の内線及び外線の受付対応です。他には冬季の除雪作業、秋の落葉の掃除と季節ごとに仕事が変わります。出勤日ごとにさまざまなことが起き、対応がそれぞれあり考えさせられることがあり、緊張感を持って対応いたしております。仕事を通じ、成長させていただき、関係各位の皆様方に感謝いたしております。

体と頭が正常である限り、仕事を続けていきたく考えております。

私の大切なもの



千歳地区
仁藤 政司

それは十五年前にさかのぼる。人は私が大のゴルフ好きと思っ

よう、今度は非誘ってくださいななどと声ばかりかかってくる。どうもおかしいと思っていたが、どうやらこの時の出来事がいまだに尾を引いているようである。

今も友人同士やOB会のゴルフに参加しているが成績はいつも下位クラス。すばらしいティーショットでスタートして行くのに戻ってきたときのスコアがどうしても理解できない、というのが周囲の一致した意見である。いつやめてもおかしくない成績だが、そうもいかないちよつとした事情がある。

現役時代、私はゴルフがきらいで、一生やるつもりはありませんなどと公言していた。しかし意に反し新境地のコンペに参加するはめに。結果一四〇オーバーの大たたき。前代未聞の大記録であった。しかも運悪く名だたる取引先が名を連ねていた。これが私の歓迎コンペだったからなおさら始末が悪い。準備した連中が面白がって仕組んだものであったが、いくらなんでもここまではやってくれないだろうと思っただけ。赴任地は県外でゴルフの盛んな土地柄。主要な取引先からは白んだ目で見られ、私の評判は憎きゴルフで地に落ちた。

しかし、驚くべきことにこの屈辱をはね返す力が当時の私にはあった。傷ついた私は彼らを見返すための練習の鬼と化す。ただちにもらいもなかったクラブを捨て、ニューモデルに、仕事もそっちのけに週三回は練習場通いに明け暮れた。そうこうするうち彼らもこれを面白がり、上

ひろば
つながり

多員の健康・趣味

達ぶりを見てやるからと私をコースに誘ってくるようになったのである。半年が過ぎ、あの時一緒に回った取引先から「まるで別人だね」とほめられた時は心底うれしく、なぜか鼻の奥がツーンと痛くなった。

ゴルフ否定派の私が大変身。まるで革命でも起きたように大げさな話が社内にも広がった。単身赴任をいことにゴルフ三昧などと再び評価はくだり坂。だが私は何を言われようとあの時感じた鼻腔の痛がゆさを忘れることはない。



滝山二地区
佐々木弥生

大好き、やまがた

四年目の山形の冬です。真っ白な雪を朝・昼・夕方、雪かきにも慣れ



西地区
樋口 健一

新しい取り組みのボランティア活動

西地区の研修会前に毎年行っているボランティア活動を新しい取り組みで昨年十月十七日(月)に実施しましたので紹介します。

今まで、西地区で比較的大きい西田中央公園の清掃活動を長年続けてきましたが、私達の地区で新しいボランティア活動がないものかと、世話人一同考えていたところ、西地区は左沢線を挟んで北と南に別れてお

ました。アイスバーンの道を小さい歩幅でのチマチマ歩きにも慣れまいた。冬の山形で生活するのに大事なことは、慣れることが一番だと思います。

雪がとけ、温かさを感じる日が多くなると待ちに待った春、短い春が終わり、暑い夏、素敵な秋、四季折々の食と自然を楽しんで、生活しながら、シルバー会員になり、お仕事を紹介していただきました。今は、高齢者福祉施設での仕事です。同年代の方と仕事をしながら生まれた信頼関係、助け合い、はげましあつて、お互いの心を大事に働くことが、高齢者には大事だと感じております。

高齢になってから山形に来て、いろいろな経験をしましたが、やまがた、大好きということになりました。



り、西小学校児童の通学や通勤で利用している地下道に目を向けたところ、クモの巣による汚れで通学道としては相応しくないのではとなり、私たちが掃除をすることになりました。しかし、天井と蛍光灯までの高さがあり通常の「ほうき」では届かないことが分かり、自分たちで長い「ほうき」を作り地下道の掃除を試みたのが新しいボランティア活動です。

今年には二班に分かれ西田中央公園と地下道清掃を追加してのボランティア活動となり、研修会後、恒例となっている懇親会の席で酒の勢いもあり、壁面の水拭きも追加することを検討し地下道清掃を続けようとなり、安全を第一優先にすることを申し合わせし、関係する自治会に届け掃除が無駄にならないように、十月にすることになりました。少しでもお世話になっている地区への恩返

しになればと……。



西地区
細谷 孝司

胸懐(個展を控えて)

還暦を過ぎて、シルバー人材センターに身を置き、筆耕に携わる悠揚の日々、来たる古稀に書歴五十年の節目を求めようと思いついた。

巷間の書道界は、家元的な師風の模倣、数頼みの序列と年功の商業主義が往來し、市井は口当りの良い安直な遊書に浮かれる……。そして、建前だけでは通れない煩瑣な世相に、自分も翻弄された半世紀ではあった。

近年、冒頭のごとく野に下って、これまで培った床の間的な独創性と個性の追及を払拭して、文字表記の有用性という原点に立ち返る機会に巡り合う。奇をてらわず、普遍性・「見るに耐える」用の美へと不急の命題に邂逅したのである。

緒についたばかりのこの十年間の、道半ばながら、ひっそりと、そしてしたたかな路傍の酔筆三昧を披瀝したく、時は五月二十六日から二十八日、ところ

は県の芸文美術館、ご笑覧とご高評をいただき





須貝國男・佐藤幸博
(株)ヨシケイ山形

市内、南西部の松栄地区にある「(株)ヨシケイ山形」を訪ねました。はじめに商品担当の今野部長から会社の概要説明を受けました。(株)ヨシケイ山形は食材の宅配サービス事業を行う会社で、県内に八つの営業所があります。県内全体では一日に約四千戸、山形市内は約千六百戸へ食材の配達を行っています。シルバー会員の業務はクールBOXで配達される「食材の美味しさと安全を保つ」保冷材の洗浄が主体です。

説明の後、就業場所へ案内していただき、リーダーの須貝さんと佐藤さんに話を伺いました。①就業日は毎週月曜日から金曜日まで。土曜・日曜は休みです。②時間は午後一時から四時まで。③四名の会員が二名一組のシフトを組んで就業しています。以前は固定の顔ぶれでシフトを組んでいましたが、現在は全員の意思疎通ができるよう、月ごとにシフトを調整し就業しています。業務内容は午後一時から三時まで各営業所から搬入されてくる保冷材の洗浄で、実際に洗浄機に出し入れの行程を見学させていただきました。洗浄後は隣の保冷庫に運び整理しています。特に夏期は搬入数が増え多忙になるとのことです。その後三時から四時まで別室調理室とフロア清掃で業務終了となります。業務で心掛けていることは、特に体力の維持管理とケガや事故防止には細心の注意をしているとのことです。そして年二回親睦会を開催し、会員同士が責任を持つて業務に取り組むよう連携しているとのことです。今野部長さん、会員の皆さんの限られた貴重な時間を取材にご協力いただきありがとうございました。

(取材・広報部)

就業会員を訪ねて

古頭 義雄 (香澄駐車場)

香澄駐車場は、市民会館の隣にある市営駐車場です。指定管理者として管理運営を行う山形市都市振興公社からの業務委託を受け十名の会員が就業しております。リーダーの古頭さんを訪ねました。

まず池田所長さんにごあいさつを申しあげたところ「市営の施設として、利用者の利便と安全の確保に気を配っておりますが、会員のみなさんには適正な管理を行っていたらいいと思います。混雑時などは特段の対応をさせていただきます。紙幅の都合により概要を紹介いたします。」とお話しをいただきました。

古頭さんから就業内容について伺いました。①駐車場の営業は七時三十分から二十二時までです。②二名一組・五班編成で、二日勤務・三日休みのローテーションが就業の基本となります。③就業は前勤と後勤の二交代で、前勤は七時から十四時四十五分、後勤は十四時三十分から二十二時五分までです。④月平均就業日数は十二〜三日となります。⑤主な業務は、モニ



ターによる監視や場内巡回による点検・清掃、回数券の販売、定期券の販売、売上の金の精算と管理などです。⑥市民会館の催事などで混雑が見込まれるときは、非番の会員一名の応援出勤と精算機による本精算の前に補助レジによる臨時の事前精算所を設け、スムーズな出庫に対応します。利用者にはあらかじめその旨のチラシを配布して周知をします。⑦冬場の除雪は、当日の朝に積雪の状況を判断して、車の出入りに支障のないように手作業で行います。その周辺を除雪が必要なきときは、所長さんが除雪機で行うようになっていきます。会員が除雪機を使用しないのは、安全就業を確保するための措置です。就業中のところ、お話をいただきありがとうございました。

(取材・広報部)

シルバーに

人あり

技あり

心あり

仲間からきぶ



第二地区 佐藤 輝夫

会報誌の百二十号と百二十四号の表紙写真は佐藤さんの作品です。写真コンテストにも応募し、いろいろな賞を受賞されています。佐藤さんに話を伺いました。

カメラを初めて買ったのは働くようになってからです。しかし、仕事に忙しく撮る時間がありませんでした。本格的に写真撮りを始めたのは退職後で、地元に戻りシルバーの写真愛好会に入会してからです。

愛好会で知り合った仲間からは、写真の技法や撮影スポットなど多くの教えを受け、写真への興味をますます深めることが出来ました。普段出かけるときは、いつも小型のカメラを持ち、感動した場所や気になる場所はシャッターを切ります。

都会暮らしが長く運転免許を取らなかつたことに悔いがありますが、愛好会へ入会したことで仲間の車で

撮影スポットへ。時には、奥さんの運転で撮影に行くことが出来るので不自由な思いは感じません。

人の目は物を立体的に見ますが、カメラは平面で見るといふこのギャップが写真撮りの難しさです。

好きなものを感じたままに、人らしい表情をとらえる写真を撮りたいたい。そのために、「他の人の撮った写真をたくさん見る。自分が写した写真を他の人から見てもらう。」を心がけています。

左の写真は、テーブルの雪がむかし二人が話し合っていた文翔館を懐かしく思い起こし写真に撮ったものです。あなたがどんな情景が浮かんでき



すか。

最後に、東日本大震災の被災地で撮影した写真とインターネットの動画サイトの画像をパソコンで合成して自作したDVDを鑑賞。記録した写真と音楽・文字をディスクに収録する操作はみごとなものでした。

(取材・広報部)

新入会員紹介

(1月1日～3月31日まで)

第一地区	菅井 邦子	蔵王地区	武田久美子
第二地区	斎藤 信義	南沼原地区	高橋 信夫
第三地区	中島 聖一	西部地区	吉田久美子
第九地区	佐久間三男	鹿野 栄司	廣谷司郎左門
第十地区	吉田あけ美	飯塚・樫沢地区	佐藤 勇
	浦山 彦雄	出羽・明治地区	高梨三知雄
	池田 洋子	金井地区	三浦 希仁
	遠藤 実		福田美知子
	清野 良昭		
	渡辺恵美子		
	岸 英一		
	中川 恒代		
	齋藤 知行		
	茂木 好博		



事務局だより

(協)山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号
電話(0)11-2647164 71647

年度替えの

手続きについて

更新と退会手続きをお早めに！

年度替えになり、会員の更新手続きの時期です。世話役の方々に会費の集金をお願いしておりますので、会費の納入をお願いいたします。

また、退会される方は、退会手続きが必要となりますので、各地区の班長までご連絡をお願いいたします。



平成二十九年度

定時総会の開催

日時 六月七日(水)午後三時
場所 ホテルメトロポリタン山形
懇親会も予定しております。
詳細は後日ご案内いたします。

行事イベント案内

お知らせとお願い



URL: <http://web.sjc.ne.jp/yamagata-shi>
E-mail: yamagata-shi@sjc.ne.jp

配分金支払日

- 四月二十日(木)
- 五月十九日(金)
- 六月二十日(火)

入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いいたします。

- 四月六日(木) 二十日(木)
- 二十七日(木)
- 五月十一日(木) 十八日(木)
- 二十五日(木)
- 六月八日(木) 二十二日(木)
- 二十九日(木)

就業相談日(午後一時三十分)

- (就業に関しての相談です)
- 四月十三日(木)
- 五月十一日(木)
- 六月八日(木)

地域の総合検診は必ず受けよう！

健康でなければ良い仕事はできません。各地区の総合健診を受診して、健康管理に努めましょう。

センター緊急連絡先

〇九〇一六二五五―五三〇二

土日・祝日に事故等が発生した場合の緊急連絡先です。

また、会員証と一緒にお渡しする緊急連絡カードは、就業の際必ず携帯するようにお願いします。

年度会費は傷害保険料に充当

会員の皆さんからいただいている年度会費(会員互助会除く)の主な使用内容については左記のとおりです。
● 会員傷害保険料(一人あたり) 二千百九十円
● 総会議案書・会報印刷費等 九百円
(うち、三百十円を充当)

あしがき

● 春がきました。世の中が明るくなったような感じがします。桜の開花は平年なみに四月中旬との予想ですが、公園や街路の並木だけでなく、散歩の途中などに意外なところで満開の桜に出会うことがあります。いつもとちよつと違ったコースを歩いてみると新しい発見があるかもしれません。
● 二月末現在の会員数を掲載いたしました(三ページ)。昨年十月に六年ぶりに千人の万台を超え、三月の理事会承認分を含めた平成二十八年度末の会員数は千六十人となります。前年度末対比で七十一人の増加となりますが、年度中の退会者九十五人を補つてのことです。一六六人の新規加入があったこととなります。県内では、前年度と比べて会員が増加している唯一のセンターです。
事業の状況については一月末現在の数字ですが、受託事業は三七%、派遣事業で二十九・二%前年同期を上回っております。会員数の増加、事業の伸長は、一・一(イチイチ)運動などの取組みの成果であると思っております。
● 会員のひろばに二人の会員から原稿をお寄せいただきました。ありがとうございます。会員のひろばは各地区の輪番で編集しておりますが、当該地区以外の会員からの寄稿も大歓迎です。地区のできごとや趣味、健康づくりなどについて原稿をお寄せください。